



学校だより

<http://www.hikarigaoka1-j.nerima-tky.ed.jp>

練馬区立光が丘第一中学校
平成31年2月1日発行

早春賦

副校長 野村みのり

「鬼は外、福は内」と言いながら、豆をまく節分は2月3日です。その翌日2月4日は立春、二十四節気の一つで暦のうえでは春が始まる日とされています。しかし、2月は1年のうちで最も寒さが厳しい時です。西門にある大きな梅の木の枝には、無数の堅いつぼみが付き、開花の時期を待っている様子を見て、「早春賦」という歌を思い出しました。音楽の教科書に掲載されているので、知っている人も多いと思います。

この曲は、冬の厳しい寒さに耐えて生きる人々が、春の訪れを今か今かと心待ちにする様子を丁寧に表現しています。1番は、春とは名前ばかりで寒い日が続き、うぐいすは歌いたい、まだその時ではないために歌えない様子。2番は、氷が解けて川辺に生える葦が芽吹き、もう春だと思うのに雪空が続く情景を表しています。

1～2番の歌詞から、3年生は進路という人生の節目に向けて、一日一日を大切に過ごしている状況を重ねました。光一中での生活は、楽しいことばかりではなく、苦しいことも多かったと思います。卒業後の進路が心配で、不安に押しつぶされそうになりながら、学校生活を送っている人もいることでしょう。しかし、確実に「春」は訪れます。堅いつぼみも時が来れば開花するように、今は試練にじっと耐え、3年間で培った力を進路決定に向けて十分に発揮してください。「春」を待ち焦がれる気持ちが最も表現されている3番を紹介します。

「早春賦」から3番

【歌詞】

春と聞かねば 知らでありしを
聞けば急かる 胸の思いを
いかにせよとの この頃か
いかにせよとの この頃か

【大意】

春と聞かなければ 知らないでいたものを
聞いてしまうと 気持ちが急かされる
この気持ちをどうしたらいいのだろう
この気持ちをどうしたらいいのだろう

「春」という言葉には、進路が決定した安堵感と、慣れ親しんだ光一中を卒業する一抹の寂しさが混在する気持ちが表現されていると思いました。

1～2年生のみなさんは、自分にも訪れる中学卒業後の進路に向けて、日々の努力を怠らず進級に向けて頑張ってください。

2月の主な予定

1日（金）都立推薦入試発表(3)	17日（日）新入生制服採寸
4日（月）全校朝礼	18日（月）生徒朝礼
6日（水）都立一般出願(3) 3年は給食なし 区内研修会のため午前授業	19日（火）スキー教室始(2)
7日（木）学校保健委員会	22日（金）スキー教室終(2) 都立一般入試(3)
9日（土）土曜授業 新入生保護者説明会	26日（火）学年末考査 美 社 数
12日（火）避難訓練	27日（水）学年末考査 国 音 技・家
	28日（木）学年末考査 英 理 保体

百人一首大会

1月12日（土）2～3校時に体育館で1・2学年合同での百人一首大会を行いました。外では小雪が舞う中、体育館では白熱した試合が繰り広げられました。この日のために、国語の授業では数首ずつ覚えたり、学活で何度も練習したりしました。結果は2年1組が圧倒的な強さで優勝しました。



書き初め展

1月9日（水）～1月18日（金）まで校内書き初め展が行われました。審査の結果、金賞12名、銀賞12名、銅賞20名でした。金賞の生徒は、1月26日（土）～1月27日（日）区の連合書き初め展に出品しました。出品された作品は、1年間、応接室に展示します。ぜひご覧ください。



校内書き初め展受賞者

【金賞】

【銀賞】

【銅賞】

生徒の活躍

練馬区教育委員会児童・生徒表彰

バスケットボール部	光が丘杯	男子優勝	優秀選手賞
	1年生交流大会		優秀選手賞
	ジュニアカップ		優秀選手賞
吹奏楽部	アンサンブルコンテスト	銅賞	
バドミントン部	1年生大会男子ダブルス	第1位	
	1年生大会男子シングルス	第3位	